

わかやま 市議会 だより

・特集 受け継がれる 孫市のころ	P2
・正副議長の挨拶／6月定例会の概要	P4
・採決状況	P5
・一般質問	P6
・委員会審査の概要	P10
・永年在職議員表彰など	P12

No.122 令和8年(2026年)8月1日発行



小さな甲冑、大きな伝統

特集vol.34 受け継がれる

孫市のところ

[新堀こども園] 甲冑を着て和太鼓を演奏する子供たち。手作りの甲冑は、畳などの身近な素材を使い、軽量で安全に着用できるよう工夫されています。



類いまれなる鉄砲の腕前、独特の兵法、優れた知力や剛胆さで敵に恐れられた雑賀孫市は、和歌山市の歴史を語る上で欠かせません。

今回は、孫市を通して地域を盛り上げるために活動している「孫市の会」の方々にお話を伺いました。

和歌山にすばらしいヒーローがいた！

「味方につければ必ず勝つ」といわれるほど、鉄砲の名手として活躍した雑賀孫市は、今なお多くの人を魅了しています。

そんな孫市の魅力を次世代に伝えていくのが、「孫市の会」。会長の森下幸生さんを中心に123名の会員が所属しており、そのうち約40名が手作り甲冑隊として活動しています。

森下会長は、会の設立以



太田城跡の碑

総光寺由來井太田城水責図(惣光寺所蔵)

雑賀孫市(孫一)とは

戦国最強といわれた鉄砲集団「雑賀衆」の中心人物として、名をはせた偉人。

鉄砲を活用した集団戦法により信長をも恐れさせた、戦国時代の紀州を代表する人物です。

雑賀一向宗の本拠であった「本願寺鷺森別院」や、秀吉が雑賀衆らに水攻めを行った太田城本丸があったとされる「来迎寺」など、本市には雑賀衆ゆかりの地が数多くあります。

前から和歌山市駅周辺の活性化に長年取り組んできました。その活動の中で、和歌山市駅前が雑賀衆の本拠であったという歴史を知ったそうです。

和歌山市の大きな魅力であるにも関わらず、市民の方にもあまり知られていなかった雑賀衆。どうすればこの歴史を多くの方に伝えられるのか――森下会長が出した答えは、雑賀衆を現代に再現することでした。

こうして、「和歌山市駅前Ⅱ孫市の街」を目指す組がスタートしました。

よみがえる孫市

まず取り組んだのは、手作りの甲冑制作に挑戦することでした。ゼロから形にしていくなかで作業は簡単ではありませんでしたが、なんとか完成し、雑賀衆をよみがえらせるための大きな一歩となりました。

その後は、地域イベントへ参加したり、甲冑教室や出前授業を実施するなど、幅広い活動を展開しています。中でも力を入れている「孫市まつり」は、今年で第22回を迎えました。

迫力満点の鉄砲演武や、武者行列など、戦国さながら



本願寺鷺森別院で披露される鉄砲演武。火縄銃がごう音を響かせる瞬間、誰もが思わず息のみます。



手作り甲冑に身を包み、和歌山市駅周辺を練り歩く壮観の武者行列。



孫市の会キャラクター「まごりん」

供たちが誇らしげに甲冑を着て、楽しそうに歴史に親しむ様子に、思わず心が温かくなりました。

こうした体験を通して、子供たちは歴史や文化への理解を深めるだけでなく、協調性なども育みながら、歴史を未来へつなぐ大切な役割を担っています。

和歌山市には雑賀孫市ゆかりの地をはじめ、多くの歴史資源が残されています。NHKの大河ドラマ「豊臣兄弟」をきっかけに関心が高まる今こそ、本市の歴史を発信し、次世代へ伝えることが重要です。

また、工夫が重ねられた園独自の甲冑は、和太鼓の演奏と組み合わせ、子供たちが歴史や文化を体験するために活用されています。実際に現場へ何うと、子



穏やかな笑顔を浮かべながら、孫市の魅力や雑賀衆の歴史について話す森下会長

「ふるさとに誇りを持ってもらうため、雑賀衆を次世代へ伝えたい」と熱く語る森下会長からは、生まれ育った和歌山市への深い愛情と、歴史を通じて地域を活性化させたいという情熱があらわれていました。

受け継がれる歴史

孫市の会の活動は、さらに広がりを見せています。例えば、吹上地区にある「新堀こども園」では、甲冑教室への参加をきっかけに、孫市まつりの武者行列に参加するなどのつながりが続いているそうです。

また、工夫が重ねられた園独自の甲冑は、和太鼓の演奏と組み合わせ、子供たちが歴史や文化を体験するために活用されています。実際に現場へ何うと、子

編集後記



手作り甲冑や孫市まつり、子供たちへの継承活動には、和歌山の歴史を地域で受け継いできた歩みがありました。孫市ゆかりの地が残る本市だからこそ、その魅力を磨き、郷土への愛着と誇りを深めるまちづくりに取り組んでまいります。歴史は、過去を振り返るだけでなく、まちへの愛着と誇りを育てる、今に生きる力なのだと感じました。

特集担当：中庄谷 孝次郎、辻本 太一、赤松 良寛

本物そっくり
手作り甲冑



6月定例会採決状況

全員賛成で可決・同意等となった議案



議1	市長専決処分事項の承認(和歌山市税条例の一部改正)	議12	旧慣による公有財産の使用廃止
議2	令和8年度和歌山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	議13	工事請負契約の締結(河西橋旧橋撤去工事その3)
議3	和歌山市税条例の一部改正	議14	工事請負契約の締結(岡崎130号線橋梁上部工事)
議4	和歌山市印鑑条例の一部改正	議15	物品購入契約(小型動力ポンプ付き軽積載車)
議5	和歌山市立保育所条例の一部改正	議16	物品購入契約(高度救命処置用資機材)
議7	和歌山市特定都市河川浸水被害対策法に基づく雨水貯留浸透施設等の標識の設置に関する条例の制定	議17	物品購入契約(学習用コンピュータ)
議8	和歌山都市計画事業東和歌山第二地区土地区画整理事業施行条例の一部改正	議18	監査委員の選任
議9	和歌山市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	議20-38	農業委員会委員の任命
議10	市道路線認定(7路線)	議39	固定資産評価審査委員会委員の選任
議11	市道路線変更(1路線・終点の変更)	諮1-4	人権擁護委員候補者の推薦

賛否が分かれた議案



議1	令和8年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)	議19	令和8年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)
議6	和歌山市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正		

賛否の状況

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「―」、欠席者は「欠」と表記しています。なお、議長は通常、採決に加わらないため「／」としています。また、議員名は、会派ごとに議席番号順に表記しています。

議案番号	会派名 議員名	創和クラブ												公明党議員団						民主クラブ				和歌山興志 クラブ		日本共産党 議員団		日本維新の会		無所属	無所属	結果						
		辻本 太一	林元 光広	志賀 弘明	山本 宏一	中村 元彦	中谷 謙二	丹羽 直子	芝本 和己	戸田 正人	古川 祐典	北野 均	遠藤 富士雄	堀登 美子	木野 十三	堀風 良子	西風 章世	園内 浩樹	荻浩 昭	奥山 昭博	松本 哲郎	山路 恭世	清末 博善	山中 敏生	川端 康史	山本 忠相	赤松 良寛	吉本 昌純	尾崎 方哉	坂口 多美子	南畑 幸代		森下 佐知子	中庄谷 孝次郎	山野 麻衣子	井上 直樹	永野 裕久	
議1		○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	可
議6		○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	可
議19		○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	可

※可は可決です。採決状況は、市議会ホームページでもご覧いただけます。

わかのすけの市議会ガイド!!

補欠選挙とは

補欠選挙とは、退職や死亡などにより議員に欠員が生じた場合、それを補うための選挙です。補欠選挙の当選者の任期は、前任者の残任期間となります。市議会議員における補欠選挙は、定数の1/6以上の欠員が発生した場合に行われるほか、欠員が定数の1/6未満の場合でも、市長選挙が行われる場合は併せて補欠選挙を行います。

補欠選挙
ってなに？



和歌山市議会公式
マスコットキャラクター
「わかすけ」



和歌山市議会では、本会議場にモニターを設置し、会議の進行状況等が分かりやすくなりました。また、傍聴の手続も簡素化したので、お気軽にお越しください。

生中継・録画中継が
ご覧いただけます。



正副議長の挨拶



動画が
ご覧いた
できます

平素より市民の皆様方には、議会活動及び市政発展のためご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。このたび、和歌山市議会の議長並びに副議長に就任いたしました。その使命と責任の重さに身の引き締まる思いです。

現在、人口減少や少子高齢化、災害への備え、地域経済の活性化など全国共通の課題が山積する中、私たち市議会には、市民の皆様方の声に耳を傾け、時代に即した議論を重ねていくことが求められております。

これらに的確に対応していくため、議会の機能が十分に発揮されるように努めてまいります。また、市民の皆様方にもわかりやすい情報発信と説明責任を果たし、議会への信頼向上にも取り組んでまいりますので、これからも市議会へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議長・副議長の経歴



副議長

なかむら もとひこ
中村 元彦

(令和8年6月11日就任)
平成27年初当選 現在3期目
建設企業委員会委員長
広報委員会委員長
議会運営委員会委員長
などを歴任



第92代議長

なかたに けんじ
中谷 謙二

(令和8年6月11日就任)
平成26年初当選 現在4期目
経済文教委員会委員長
総務委員会委員長
議会運営委員会委員長
などを歴任

6月定例会の概要

開
会

6月11日

- ・会期の決定(6月11日～6月29日)
- ・正副議長の選挙
- ・厚生委員会委員の定数変更

- ・永年在職議員表彰
- ・議案説明(報告関係16件、承認関係1件、議案17件(補正予算案2件、条例案7件、その他8件))

一
般
質
問
等

6月15日

- ・仮議長の選任
- ・追加議案の説明(人事案件1件)、採決
- ・永野裕久議員、林元光広議員、坂口多美子議員、中庄谷孝次郎議員

6月16日

- ・堀登美子議員、山路恭世議員、赤松良寛議員

6月17日

- ・追加議案の説明(補正予算案1件)
- ・南畑幸代議員、堀良子議員、丹羽直子議員

常
任
委
員
会

6月19日～24日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

6月25日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決(P10～P11に概要掲載)

閉
会

6月29日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(南畑議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件24件)、採決

6月18日

- ・森下佐知子議員、山本忠相議員、遠藤富士雄議員(P6～P9に概要掲載)
- ・議案の委員会付託

令和8年度予算(6月補正後)

一般会計	1,688億8,998万4千円 (補正額31億2,103万9千円)
特別会計及び 公営企業会計	1,443億8,130万5千円 (補正額377万2千円)
合 計	3,132億7,128万9千円

補正予算の概要

一般会計では、学校施設開校整備費補助事業、避難所連絡体制強化事業、脱炭素先行地域事業、地域資源活用推進事業、物価高騰対応プレミアム付商品券事業などに要する経費が計上されました。

特別会計では、後期高齢者医療特別会計で、後期高齢者医療制度の資格確認書の送付に要する経費が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

一般質問



一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

創和クラブ



はやしもと みつひろ
林 元 光広

道路損傷等通報システム

問 市民の皆様から寄せられる相談の中で道路に関するものは非常に多く、放置すれば交通事故にもつながりかねない。

答 本市では令和3年2月から「道路損傷等通報システム」の運用を開始しているが、本システムについて、当局はどのように評価しているのか。

答 年々、微増ではあるが増

加傾向にあることから、本システムに対する認知度も徐々に上昇しているものと認識している。

事務負担の軽減や優先順位判断、現地調査の効率化など、本システムの導入による効果が現れているものと評価している。

問 市民の利便性の向上及び利用促進の観点から、本市公式LINEのメニューに本システムへの入口を追加することは、技術的・費用的観点から実現可能か。

答 技術的な課題も特になく、費用面においても安価に運用できることから、実現は可能であると考えている。



問 行政職員の業務効率化を図りながら市民福祉の向上も得られる、市民参画型

のまちづくりにつなげる糸口として、本システム等の利用促進と併せて、市民や自治会等との協働による道路維持管理について研究し、本市に適した仕組みづくりを検討してはどうか。

答 市民や自治会等との協働による道路維持管理は、地域の力を生かした有効な手法であると考えられることから、本市の実情に適した道路維持管理の仕組みづくりについて、総合的に検討を深めていく。



にわ なおこ
丹羽 直子

がん検診

問 本市では、子宮頸がん検診は細胞診で実施されており、HPV検査単独法は導入されていない。HPV検査単独法導入について、準備状況はどうか。

答 導入している自治体を調査し、実施体制の在り方について検討を進めていく。

問 検診費用の自己負担額は、受診率に大きく影響す

る。現在、本市は肺がん検診、大腸がん検診だけが集団検診で無料となっているが、乳がんは女性のがん死亡数第4位であり、がん予防を実施するにあたって極めて重要である。乳がん検診も無料にしてはどうか。



デジタルマンモグラフィ検診車

答 今後、検診実施機関と調整を行い、集団検診の無料化を進めていく。

問 がん当事者などに配慮しながら、親子でがんの公開授業を開催してはどうか。

答 今後も当事者などに配慮しながら、保護者も参観できる授業の実施について学校に働きかけていく。

日本人拉致問題

問 拉致問題に関する教員研修や作文コンクールへの参加などについて、協力を求める文書が国から通知されているにもかかわらず、

3年間教員研修も作文コンクールへの応募もしていないことが残念でならない。国からの依頼に対して協力していないのはなぜか。

また、日本人拉致問題を児童生徒にどう指導していくつもりか。



拉致問題に関する作文コンクール

答 通知は学校に周知しているが、授業時数や各学校の実情などにより、実施状況に差が出ている。今後、学習教材の活用支援をするとともに、フォローアップを強化し、児童生徒が拉致問題について学び、考える機会の創出に努めていく。



えんどう ふじお
遠藤 富士雄

今後の本市の展望

問 私も30年前から取り組んでいた扇の芝の復元について、今までの市長は誰も手を付けず職員にもやる気

がなかった。それが尾花市長の熱意によって職員が動き文化庁も動いた。

復元には我々の知らないところで大変な苦労があったと思う。それはどんなものであったのか。また、将来どのように活用しているのか。



扇の芝フォトモンタージュ

答 私も扇の芝に対しては強い思いがあり、スピード感を持って整備を進めた結果、127年ぶりに芝地が復元されることになった。このような歴史的事業を実施できたことは私にとって大きな誇りであり、ご協力いただいた皆様には大変感謝している。

この復元を通じ、和歌山市が城を中心とした歴史とにぎわいのある城下町とし

て、現在から未来へと受け継がれるよう努めていく。

問 スポーツに限らずどんな分野でも、生徒は先生に憧れて学校を選ぶことがある。そんな先生は大切にしないといけないのではないのか。教員の配置換えについてどのように考えているのか。また、和歌山市の教育予算は少なすぎると思うが、現状をどう思っているのか。

答 教員の配置換えについては希望に基づき行っており、教員の指導力養成などを通じて学校の魅力向上に努めていく。教育予算については、今後もしっかりと予算確保に取り組んでいく。

問 まちなかの活性化や子育て支援、財政の健全化など、市長は様々な功績を残したが、将来の和歌山市や次期市長に期待することは。

答 私が思う本市の将来像は、将来にわたって市民一人一人が幸福を実感でき、住みたい、住み続けたいと選ばれるまちである。市民の皆様が安全、安心して暮らすことができ、子供たちの笑顔があふれる元気な和歌山市を作り上げていた

けるようお願いしたい。

公明党議員団



ほり とみこ
堀 登美子

5歳児健診の実施

問 5歳頃は言葉の発達などが明確になる、就学に向けた重要な時期である。

現在、市では5歳児相談事業を実施しているが、相談がなければ把握できない状況にある。一方健診は、対象となる全ての子供を診ることができ、必要な支援へ結びつけることが可能となる。5歳児健診を実施すべきと考えるがどうか。

答 5歳児健診は、心身の発達の特長などを総合的に把握し、早期の支援につなげるために重要であると考えている。健診開始に向け、具体的な実施体制の整備に向けて検討を進めている。

AED使用時の配慮

問 女性に対するAEDの使

用率が、男性に比べて低い傾向にある。衣類を開けることへの心理的抵抗などから使用をためらうケースがあるためとされている。

全国では、救命率向上とプライバシー配慮の両立を図る取組が広がっている。まずは、三角巾等を配備するなど、女性へのAED使用をためらわせない環境づくりを進めてはどうか。



深谷市ホームページより

答 救命率の向上につながる取組であると認識している。市有施設のAEDについては、女性に配慮したAEDの使い方についてリーフレットを作成するとともに、三角巾を配備していく。

問 救命講習での周知、さらには民間施設への周知啓発が必要と考えるがどうか。

答 救命講習の際に女性に配慮したAEDの使い方を周知するとともに、AEDを設置している市有施設への三角巾とリーフレットの配置にあわせて周知する。



ほり よしこ
堀 良子

産後ドゥーラ

問 産後ドゥーラとは、家事支援、育児支援、母親への寄り添い支援を一体的に行う伴走型支援人材であるが、本市には、現時点で産後ドゥーラ資格取得者が一人も存在していない。産前・産後の母親は気軽に相談できる相手が身近にいない場合も多く、孤立しやすい状況にある。妊娠・出産から子育てまでを切れ目なく支える人材の重要性が改めて認識される中で、産後ドゥーラは最適な人材であると考え。産後ドゥーラを含め

新たな支援人材について理解を深めるため、専門家や関係者を招いた勉強会の機会を設けてはどうか。

答 全ての妊産婦、子育て世帯が安心して妊娠、出産、子育てができる環境整備を進めるとともに、勉強会開催については、市民ニーズの把握、対象者や方法等、他都市の取組などを注視しつつ、研究していく。

こどもまんなか



子供の居場所づくり

問 本市では、多種多様な子供の居場所が、多くの市民や専門家によつて運営されているが、児童虐待や不登校など子供を取り巻く環境の厳しさが増している中、居場所への多様なニーズは今まで以上に増している。現状

答 適切な人事評価・配置により頑張った職員が報われるとともに、DXの推進による働き方改革などを進め、生き生きと働ける環境を整えることが重要である。こうした取組を通じて職員のモチベーションを向上させることが、元氣な和歌山市役所の実現につながるものと考えている。

地域コミュニティの醸成

問 本来、行政自らすべきことを依頼している自治会そのものが弱体化している現状をどのように見ているか。地域コミュニティの衰退化の流れから将来に向けて何かしらの見直しが必要と考えているか。

答 自治会加入率低下は危惧すべき問題である。自治会離れの原因について、課題の洗い出しを行い、対策を検討するとともに、自治会活動を持続可能なものとするため、デジタル化を含めた負担軽減策を自治会の方々と共に考えることで、自治会活動に参加しやすい環境づくりを目指していく。

場の方から、財政面を含めた継続性や居場所どうしの連携に関する不安の声を伺う機会があった。本市の子供の居場所づくりについて実態調査を行うてはどうか。

答 子供の視点に立った多様な居場所づくりが行われるよう、調査を実施していきたい。コーディネートについて、関係機関とのネットワークの充実や専門職の連携を緊密にし、効果について研究していく。

民主クラブ



やまじ やすよ
山路 恭世

生理用品の小中学校トイレ個室設置

問 「うちの学校には生理用品がトイレに置かれていないのに〇〇学校には置かれている」という声が寄せられた。生理用品は、必要など

きに必要な場所で、誰に話さなくても利用できる環境であるべきだと考える。

市内全校で統一した環境整備を進める考えはないか。

答 全校に対し配布方法の見直し等を働きかけ、統一した環境整備を進めていく。

包括的性教育

問 子供たちが自分の体を大切にし、困ったときに助けを求める力を身に付ける包括的性教育は重要である。

教育現場で正しい教育を避けてしまえば、子供たちはネットで調べ始める。ネットの情報を用いるに成長する子供たちが増えることに、大人は危機感を持たなくてはならない。モデル校での実施も含め、どのように考えているか。

また、今年本市地域で、若者が体や性について等を相談できるユースラボが開設された。相談窓口の周知や活用に取り組んでいく必要があると考えているがどうか。

答 モデル校の設置を含め検討していく。周知や活用については、関係部局と連携して取り組んでいく。



やまもと ただすけ
山本 忠相

子育て環境日本一の実現

問 ファミリーサポートセンター事業について、提供会員に対する報酬の見直しは行われていない。報酬を市が補助するなど、社会の宝である子供たちを守ってくれる方の待遇改善を図っていたきたいと考えるが市長の見解はどうか。

答 本市が利用料の一部を負担することについて、ニーズを踏まえ検討していく。

問 不登校のきっかけや状況は個々に異なり、それぞれの対応が必要である。第3の居場所と言われるフリースクールなどの設置を確認し、関わりを持つことが必要だと考えるがどうか。

答 フリースクールなどは、社会とのつながりが持てる場として重要な役割を果たすことを認識している。ケースに応じて更なる情報提供を行っていく。

問 フリースクールなどの利

南海フェリーの撤退

問 和歌山徳島航路を海上国道とし、第二国土軸として実現するため、国に対し積極的に取り組んでいくべきであると考えているがどうか。

答 多くの自治体に呼び掛け、国に戦略的な働き掛けを行えるよう協議していく。

和歌山興志クラブ



あかまつ よしひろ
赤松 良寛

人事評価制度

問 職員が生き生きと働ける組織にするには、働き方改革を進め部門間格差を是正すること、頑張った人が報われる人事評価制度、管理職の人事ローテーションの頻度を下げるなどが重要だと考える。職員が働きがいを感じる組織にすることが、市民サービスの向上につながる。キラリ輝く元氣和歌山市役所の実現に向け、市長は何か重要と考えるか。



みなみはた さちよ
南畑 幸代

障害者相談支援事業の充実

問 適切な相談支援を受ける事は、権利だという観点から、事業の拡充や基本報酬引上げ、相談員の増員が必要だと考えるがどうか。

答 相談支援事業所の実績や現状を見極める必要があ



さかくち たみこ
坂口 多美子

「いのちのとりで裁判」

問 最高裁及び大阪高裁は、平成25年からの生活保護基準改定を違法と判断、減額処分の取り消しを命じた。市長は国へ再減額決定の撤回と、被害回復を求めるべきと考えるがどうか。

答 原告の権利承継に係る部分を除く国が示す対象者への追加給付に努める。



もりした さちこ
森下 佐知子

物価高騰対策

問 中東情勢が緊張状態の中、市内の中小業者は石油製品の供給不足により、生業・雇用が危機的になっている。市独自の支援を実施すべきだと考えるがどうか。

答 中小・小規模事業者への経済的支援は国や県と連携するほか、市の融資制度における資金調達に取り組んでおり事業者へ周知する。

日本維新の会



なかしょうや こうじろう
中庄谷 孝次郎

学校内での現金の取扱

問 児童に現金を運ばせる不安や、集めた現金の管理



なが ひろひさ
永野 裕久

無所属（国民民主クラブ）

問 各家庭において子供の塾や習い事などに使える教育クーポンのような助成事業を行ってはどうか。

答 保護者の負担軽減や教育機会の充実の観点から、意義は認識している。財源等の課題もあり、他都市の状況を踏まえ研究していく。

声の市議会だより (市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、
声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 秘書広報課
☎435-1120 までご連絡ください。

総務委員会

PICK UP 1
魅力発信プロモーションプロジェクト推進事業（議案第1号）

本市の認知度向上・愛着形成の促進を図るため、キャラクターの追加デザインを行い、イベント出展等を行うものです。

委員会では、このような議論が行われました

Q 本市の印刷物全てにキャラクターを入れるなど、全庁を挙げてブランド戦略をするべきではないか。また、キャラクター一人一人の物語をもう少し掘り下げてはどうか。

A 全庁を挙げて「わかおしっ」シリーズを推していくとともに、物語を追加発信することで、みなさんに知っていただけるキャラクターに育てたいと考えている。



和歌山市公式PRキャラクター

PICK UP 2
教育機関支援等基金積立事業及び教育機関支援事業（議案第1号）

令和7年度に寄附を受けた教育機関への企業版ふるさと納税を「和歌山市教育機関支援等基金」に積み立て、積み立てた基金を活用して、教育施設の充実や地域課題の解決、地域交流等を通じて地域活性化に取り組む教育機関が、令和8年度に実施する事業に対して支援を行うものです。

委員会では、このような議論が行われました

Q 補助額が、寄附額から市の教育関連事業に活用する5%を除いた額となっているが、この5%はどう使われるのか。

A 本市が誘致した大学の認知度を高めるイベントや、小中学校の整備等に使うことを検討している。

録画中継
6月19日
6月23日

厚生委員会

PICK UP 1
脱炭素先行地域事業（議案第1号）

脱炭素先行地域に選定されたことを受け、地域特性等に応じた先行的な脱炭素に関する取組を実施するものです。

委員会では、このような議論が行われました

Q 脱炭素の取組について、公共施設への省エネの導入補助とあるが、具体的にどういった公共施設をどのようにするのか。

A コミュニティセンターや保健所、体育館などの駐車場に、カーポート型の太陽光発電設備の設置を計画している。

Q 市民の方がそれらの施設を利用する際に、駐車場が少なく困っているという話をよく聞く。災害時などには多くの緊急車両が入ってくることもある。そういう状況は理解しているのか。

A 施設を所管する課とも十分調整しながら行っていきたい。

PICK UP 2
こども環境学習事業（議案第1号）

小学生がごみに関する環境問題について学習し、その成果を発表するための学習発表会を開催するものです。

委員会では、このような議論が行われました

Q 補助金をきっかけとして新たに行う事業だと思うが、地域課題の解決に向けた取組を広く周知するという非常に良い事業だと思う。今後は補助金に頼らずとも続けていきたい。

A 今年だけで終わるのではなく、教育委員会などと連携しながらさらにブラッシュアップし、これからも子供の声を聞く場、発表の場を引き続き持っていきたいと思う。

録画中継
6月22日
6月24日

委員会審査の概要



委員会の様子をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。



経済文教委員会

PICK UP 1
物価高騰対応プレミアム付商品券事業（議案第19号）

物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への支援を目的としてプレミアム付商品券を発行するものです。

委員会では、このような議論が行われました

Q 1億8000万円分の商品券を配ることに対し、事務費が7500万円と高額ではないか。

A 緊急に国から臨時交付金が通達され、利用者の混乱を少なくするため、今回は、現在実施している紙の商品券事業の仕組みを、活用した。今後は、デジタルの活用を前提として定款的に使われる地域通貨のような仕組みも含め、事務費の低減策について検討する。

PICK UP 2
市民大学運営事業（議案第1号）

市民大学は、実施場所、実施方法等が課題となり、開講のめどが立たず、令和8年度は休止する予定だった。しかしながら、従来からの受講者や関係者からの強い要望が多くあり、実施場所が確保できたことから、8月からリニューアル開講するものです。

委員会では、このような議論が行われました

Q 一定期間の休止はやむを得ないとしても、その後は再開の方向性が示されていれば、受講生も不安にならなかったと思うが、再開のめどはどの時点で立ったのか。

A 関係課や社会福祉協議会との調整をずっと進めていたところ、令和8年度に入り、市民大学を継続してやっていけるめどがつかつた。

録画中継
6月22日
6月24日

建設企業委員会

PICK UP 1
地方道整備事業（市道と和歌山市駅前線基本計画策定）（議案第1号）

市道と和歌山市駅前線について、居心地が良く歩きたくなる道路空間の整備に向け、社会実験及び基本計画の策定を行うものです。

委員会では、このような議論が行われました

Q 社会実験や基本計画の策定などを行うにあたってどのような価値があると考ええるか。

A 南海和歌山市駅が交通結節点、交通の要衝であるのは間違いない。南海和歌山市駅から和歌山城へ向かう市駅前線という道路を一体的な観点で整備することにより、にぎわい空間を創出していきたいと考えている。

市道と和歌山市駅前線道路
(写真奥が南海和歌山市駅)PICK UP 2
和歌山電鉄貴志川線再構築調査支援事業（議案第1号）

令和10年4月1日から完全上下分離方式による運行開始を目指し、法定協議会が行う調査事業に対し、費用の一部を負担するものです。

委員会では、このような議論が行われました

Q 貴志川線の下分離方式移行によるメリットはどのようなものか。

A 大きく2点あり、1点目は、負担が大きいインフラの維持を、公が担うことで事業者の経営が安定し、路線の存続につながることで挙げられる。2点目は、事業者がそのような負担から解放され、利用促進や観光振興など地域を活性化させるための取組により注力できることがメリットであると考えている。

録画中継
6月19日
6月23日

永年在職 議員表彰

和歌山市議会6月定例会において、永年在職議員として、次の議員が表彰されました。

在職35年

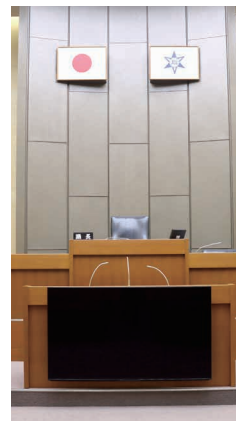


もりした さちこ
森下 佐知子 議員

在職15年



にわ なおこ
丹羽 直子 議員



エココミュニティくまもとでの現地視察の様子



厚生委員会では令和8年4月23日に、熊本市役所を訪問し、こども家庭福祉課から、「こうのとりのゆりかご事業」について概要や今後の展望などの説明を受けました。

また、同日に「エココミュニティくまもと」を訪問し、環境施設課から、概要や今後の展望の説明を受けた後、現地視察を行いました。



総務委員会では、令和8年5月18日に、久留米市役所を訪問し、「選挙啓発サポーター」について説明を受けました。同19日に、福岡県広川町役場へ「店舗型ふるさと納税」について説明を受けた後、実際に販売している広川サービスエリアの現地視察を行いました。同20日に、長崎市役所を訪問し、「長崎市人事戦略」について説明を受けました。



福岡県広川町店舗型ふるさと納税の現地視察の様子



経済文教委員会では、令和8年5月20日、静岡市にあるSHIP-SHIZUOKA INNOVATION PLATFORMを訪問し、「スタートアップ支援」について運営事業者から説明を受け、現地視察を行いました。同21日、掛川市役所を訪問し、「オーガニックビレッジ」について、担当課から有機農業に関する取組事例や今後の課題等について説明を受けました。



静岡市での現地視察の様子



建設企業委員会では、令和8年5月21日に、交通未来都市うつのみやオープンスクエアを訪問し、「宇都宮LRT」について事業の説明を受けた後、運行車両へ乗車し、車両基地の現地視察を行いました。また、同22日に、ライトキューブ宇都宮及び周辺施設を訪問し、「宇都宮駅東口地区整備事業」の現状や館内設備について現地視察を行いました。



LRT車両基地での現地視察の様子



《プロスポーツチーム×まちづくり》

スポーツ振興和歌山市議会議員連盟では、6月1日にプロバスケットボールリーグ事務局本部、2日には宇都宮市及び宇都宮ブルックスを視察しました。スポーツを通じた地域活性化やアリーナを核としたまちづくりの先進事例を学び、プロスポーツは地域活性化やシビックプライドの醸成に寄与すると実感しました。今後も更なる活動を続けてまいります。



宇都宮ブルックスでの視察の様子



わかのすけからのお知らせ

和歌山市議会広報委員会

【委員長】林元 光広 【副委員長】木野 十三
【委員】中庄谷 孝次郎 坂口 多美子 山路 恭世
清末 博善 堀 登美子 辻本 太一
志賀 弘明 赤松 良寛

市議会だよりを採点してください！

議会広報アンケート
実施期間：
令和8年10月31日
(土)まで



現在
★3.3!!
★★★★☆
R8.6月時点



和歌山市議会ホームページ 和歌山市議会 検索
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
再生紙及び植物油インキを使用しています。

